2017 年 5 月 29 日（月）
株式会社ユーザベース

ジャパンベンチャーリサーチ、
2016 年未公開ベンチャー企業資金調達状況の調査結果を発表。
資金調達額が 2,000 億円を突破し、2006 年以降で最高に

株式会社ユーザベース（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長（共同経営者）：新野良介・稲垣裕介、東証マザーズ：3966）のグループ会社である株式会社ジャパンベンチャーリサーチ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：佐久間 衡、以下「JVR」）は、2016 年の未公開ベンチャー企業資金調達状況の集計結果をまとめ、レポートを作成しましたのでお知らせいたします。

【レポート概要】

2007 年のライブドア事件に象徴される新興市場上場企業の相次ぐ不祥事、さらに、2008 年のリーマンショックが追い打ちをかけ、2009 年～2013 年の 5 年間はベンチャー投資の低迷が続いたが、ベンチャーの資金調達額は 2013 年にようやく増加に転じた。
2014 年は 1,390 億円、2015 年はそれを上回る 1,716 億円となり、2016 年はその勢いをさらに加速し、2000 億円を突破し 2,099 億円（2015 年対比 22.3%増）となっている。

一方で、資金調達を行った企業数はリーマンショック後の 2009 年を境に増加している。現状では 2015 年の 1,192 社が 2009 年以降の最大値である。2016 年の 979 社は今後の調査で増加していくと予想されるものの、2015 年よりも減少している状況にあり、1 社当たりの資金調達額が大型化している状況にある。

1 社あたりの資金調達額は 2016 年、中央値 1 億円、平均値 2 億 9,610 万円といずれも

2006 年以降で最高額となり、調達の大型化を表している。
中央値は 2010 年から増加を続け、特に 2015 年、2016 年の値は過去と比べて大型化が顕著である。
平均値も同様に 2010 年から増加傾向にあり、2015 年に 2 億円を超え、2016 年は 3 億円に迫っている。

以上の資金調達の活発化、大型化は資金を投資する側も同様であり、ベンチャーキャピタルファンド設立も 2013 年より、活発化、大型化している。
その状況は先に公表した「2016 年設立 国内投資対象ベンチャーファンド集計結果」に詳細を解説している。

さらに本レポートでは、entrepedia ベンチャーマップにて分析している 32 セクターの資金調達額について、2015 年と 2016 年にかけた増減を調査している。
その中でも伸びが顕著な FinTech、IoT、ロボット、および人工知能（AI）の 4 つの事業領域について、より詳細な分析を加えた。

レポートの全文は、JVR が提供する「entrepedia」有料ユーザのみこちらのリンクからご覧いただけます。
http://entrepedia.jp/library

また、レポートのみ単体での販売もしております。ご希望の方は http://www.jvr.jp/contact/ までお気軽にお問い合わせください。

会社概要

社名： 株式会社ユーザベース / Uzabase, Inc.
設立： 2008 年 4 月 1 日
代表者： 代表取締役社長（共同経営者） 新野良介 / 稲垣裕介
資本金・資本準備金： 2,565 百万円（2017 年 3 月末時点）
所在地： 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-18-14 恵比寿ファーストスクエア 10F
会社 HP： http://www.uzabase.com

社名： 株式会社ジャパンベンチャーリサーチ / Japan Venture Research Co., LTD.
設立： 2011 年 4 月 5 日
代表者： 代表取締役 佐久間 衡
資本金・資本準備金： 80 百万円

所在地： 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-18-14 恵比寿ファーストスクエア 10F
会社 HP： http://www.jvr.jp/

お問い合わせ先

株式会社ジャパンベンチャーリサーチ
お問い合わせ窓口： http://www.jvr.jp/contact/